



旅人を包む、五百の物語。

山形県広報誌 | No.651

県民のあゆみ

2026
5

令和8年5月号

Proud Yamagata | Our Local Treasures, A Global Invitation
山形の誇り | 地域の宝、世界への招待

今月の表紙

善寶寺五百羅漢堂(特別許可を得て撮影)。米国メディアの「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に山形県が国内で唯一選出されました。県内には多くの見どころがあります。新緑の季節にぜひお出かけください。

山形県広報誌
令和8年5月号

県民のあゆみ

No.651

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報広聴推進課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス https://www.pref.yamagata.jp/



このQRコードを
スマートフォンで
読み取ると
「デジタル版」が
見られます。



どうなってるの!? じんまちゅうとんち こうへん 神町駐屯地 後編

おお さいがい おお とき じ えいたい かつどう
大きな災害が起きた時、自衛隊はどんな活動をしているの?

そうさく きゅうじょ ぶつし うんぱん おこな
捜索・救助・物資の運搬など、さまざまな活動を行います

大きな地震や大雨などが原因で道路が壊れたり土砂崩れが発生したりすると、助けを必要とする人が出ます。そうした時は、都道府県知事からの要請を受けて、すぐに現地へ向かいます。

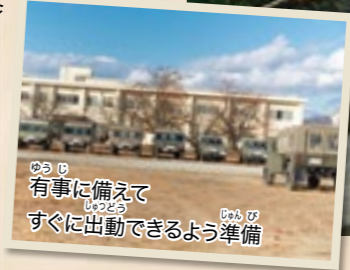
現地では、警察や消防と協力して捜索活動や人命救助を行い、けがをした人を手当てします。その後は、食料・水など生活に欠

かせない物資の運搬、壊れた道路などの応急修りや、入浴支援のための移動式のお風呂の設置・運営など幅広い活動を行います。

自衛隊は国民の生命や財産を守るため、日々さまざまな訓練を重ねており、災害が起きた際には、その力を生かして被災地で迅速かつ安全に人を助けられるように備えているのです。



大規模な災害では、救助やさまざまな支援活動を行っています



有事に備えてすぐに行動できるよう準備



第6後方支援連隊(神町)が運営する「山形花笠の湯」。1日で最大約1200人が入浴でき、被災者の心と体をあたため、安らぎを届けます。

山火事が起きた時は、ヘリコプターによる空中消火に加え、山中へ入り、手作業による消火や延焼防止作業も行います。



第20普通科連隊長
南條 衛 1等陸佐

第20普通科連隊は山形県の防衛および災害対処任務を有し、令和6年には南陽市・高島町の林野火災および酒田市・戸沢村の大雨に係る災害派遣を行い、住民の方々の期待に応え

られたものと感じています。いかなる任務にも即応完了、県民の皆さまに最も強く信頼される部隊を目指し日々の業務に励んでいます。

